

誰もが参加できる“市民による市民のための映像祭”

— Tokyo Video Festival for the people —

「東京ビデオフェスティバル 2026」開催決定、作品募集を開始

- プロ・アマ不問、ジャンル／テーマ自由、20 分以内のオリジナル作品を募集（締切：11 月 30 日^{※1}）
- 全応募作品を Web 公開^{※2}！全ての作者が映像ファンに作品をアピールできるオープンな映像祭
- グランプリの「ビデオ大賞」は「TVF2026 フォーラム」(2026 年 3 月 7 日開催予定)で行う公開審査にて決定
- 審査委員：映画評論家・村山匡一郎氏、ビデオ作家・津野敬子氏、代表理事・小林はくどう、理事・佐藤博昭

特定非営利活動（NPO）法人市民がつくる TVF（代表理事：小林はくどう）は、誰もが参加できる“市民による市民のための映像祭”「東京ビデオフェスティバル 2026」（TVF2026）の開催を決定し、2025 年 6 月 15 日より、作品募集を開始します（募集締切：2025 年 11 月 30 日^{※1}）。

「皆が語り合える社会、それが映像の役割だ！」をコンセプトに、生きる元気が湧いてくる作品、社会に訴える作品、自分の思いを語る作品、表現力に挑んだ作品など、力作をお待ちします。

※1：「東京ビデオフェスティバル」では、映像作品を通年で募集しています。「TVF2026」の締切後（2025 年 12 月 1 日以降）に応募された作品は、次回の「東京ビデオフェスティバル 2027」（TVF2027）へのエントリーとなります。

<「東京ビデオフェスティバル 2026」（TVF2026）の特徴>

- 1. プロ・アマ不問、作品ジャンル／テーマ自由、20 分以内のオリジナル作品を募集（締切：11 月 30 日^{※1}）**
作品は、年齢・性別、プロ・アマ、国内外を問わず、幅広く募集します。20 分以内のオリジナル映像作品であれば、ジャンル／テーマ、題材は自由。“誰もが参加できる映像祭”です。
- 2. 全応募作品を Web 公開^{※2}！ 全ての作者が映像ファンに作品をアピールできるオープンな映像祭**
オープンな映像祭である「TVF2026」では、応募作品は全て Web 公開^{※2}します。Web 公開中の応募作品は、当 NPO 法人の公式ホームページから視聴可能（予定）。全ての作者が、自分の作品を、あまたの映像ファンにアピールできる機会です。
※2：TVF 事務局が Web 公開に適さないと判断した場合は非公開とし、エントリーを拒否もしくは取り消すことがあります。
- 3. グランプリの「ビデオ大賞」は「TVF2026 フォーラム」(2026 年 3 月 7 日開催)で行う公開審査にて決定**
今開催を象徴する作品に贈られるグランプリ「ビデオ大賞」（1 作品。「TVF2026 アワード^{※3}」から選出）は、2026 年 3 月 7 日に開催の「TVF2026 フォーラム」の当日、入賞者や映像ファンが集う会場にて、審査委員による公開審査で決定し、発表・上映・表彰する予定です。

※3：「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から複数、選出されます。選出数は未定。応募状況に応じて決定します。

4. 審査委員：映画評論家・村山匡一郎氏、ビデオ作家・津野敬子氏、代表理事・小林はくどう、理事・佐藤博昭

審査委員会は、米ニューヨークでビデオ作家および非営利組織 DCTV の共同代表として活躍されている津野敬子氏、映画評論家の村山匡一郎氏、当 NPO 法人代表理事・小林はくどう、同理事・佐藤博昭の 4 名で組織します。「TVF2026 フォーラム」にて行われる公開審査（上述）やトークフォーラムを通じて、「東京ビデオフェスティバル」が誇る審査委員から作品の評価を受けられるチャンスです。

5. 特別賞として「TVF ジャーナリズム賞」「市民賞」を選出

特別賞（2 部門・各 1 作品）として、「TVF2026 アワード^{※3}」受賞作品の中から、TVF ジャーナリズム賞 専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品に贈られる「TVF ジャーナリズム賞」と、Web サイトで公開された全応募作品の中から TVF サポーター会員（賛助会員）^{※4}、および「TVF2026」の作品応募者の審査投票によって選出される「市民賞」を設置します。受賞作品は、「TVF2026 フォーラム」の当日、発表します。

※4：TVF サポーター会員は随時、受け付けています。詳しくは当 NPO 法人ホームページをご参照ください。

6. 好評の個別作品講評を実施！映像制作力・映像表現力アップをサポート（有料）

これまで好評いただいている個別作品講評（有料・1 作品につき 3,000 円〈税込〉^{※5}）を実施。希望者を対象に受け付け、映像制作力や映像表現力のアップをサポートします。応募作品ごと^{※6}の評価・コメントで“あなただけの作品講評”を受けられます。

※5：サポーターは、1 作品のみ無料。

※6：「TVF2026」に応募をせずに、個別作品講評だけを申し込むことも可能です。

詳細は、公式ホームページ（NPO ホームページ）をご参照ください。

＜「東京ビデオフェスティバル」公式ホームページ（NPO ホームページ）URL＞

<https://tvf2010.org/>

■「東京ビデオフェスティバル」審査委員（50 音順・敬称略）

小林 はくどう（ビデオ作家・成安造形大学 名誉教授）

佐藤 博昭（ビデオ作家・武蔵大学 講師）

津野 敬子（ビデオ作家・DCTV 共同代表）

村山 匡一郎（映画評論家）

■「TVF ジャーナリズム賞」専任審査委員（50 音順・敬称略）

下村 健一（市民メディア アドバイザー・白鷗大学 特任教授）

神保 哲生（ビデオジャーナリスト）

筑紫 ゆうな（切り絵作家・旧「筑紫哲也賞」常任選考委員）

信友 直子（ドキュメンタリー映画監督）

■各賞の選出について

- ・「ビデオ大賞」

「TVF2026 アワード」の中から今回を象徴する作品として選出されます。

- ・「TVF2026 アワード」

「入賞」に位置づけられる作品。全応募作品から選出されます。

- ・「TVF ジャーナリズム賞」

特別賞。「TVF2026 アワード」受賞作品の中から、同賞の専任審査委員により、ジャーナリスティックな視点に特に優れた報道系作品を選出します。

- ・「市民賞」

特別賞。全応募作品の中から NPO サポーター会員、および「TVF2026」の作品応募者の審査投票により選出されます。

■「東京ビデオフェスティバル 2026」スケジュール（予定）＞

- ・作品募集締切 : 2025 年 11 月 30 日(日)
- ・「TVF2026 アワード」発表 : 2026 年 1 月
- ・「TVF2026 フォーラム」開催 : 2026 年 3 月 7 日（土）
- ・「ビデオ大賞」決定・発表 : 「TVF2026 フォーラム」の公開審査にて
- ・「特別賞」発表 : 「TVF2026 フォーラム」にて

＜NPO 法人 市民がつくる TVF について＞

NPO 法人 市民がつくる TVF は、32 年間の歴史を持つ国際的な映像祭「東京ビデオフェスティバル（TVF）」（日本ビクター主催・2009 年 3 月閉幕）の精神を継承し、市民有志が結成した団体です（設立：2009 年 11 月）。ビデオ作品の制作や発表機会を通じて、映像によるコミュニケーションの活性化を図る活動を行っています。

＜東京ビデオフェスティバルとは＞

「東京ビデオフェスティバル」は、ビデオメッセージの伝達と表現力の向上を目的に 1978 年以来、継続開催している映像祭で、今回で通算 48 回目を迎えます。なお、当 NPO 法人の主催となってから 17 回目を迎えます。

本件に関する報道関係窓口

特定非営利活動法人 市民がつくる TVF 事務局 問い合わせ窓口

E-mail : npotvfinfo@gmail.com

TEL : 070-4150-2167

FAX : 042-670-7085

*** 記事中の読者様の問い合わせ先も上記でお願いいたします。**